



ひきつぐ伝統 つながる未来



母校校舎シリーズ(22) 『爽やかな香気を放つヤマトタチバナ』

発行
福島県立
橋高等学校同窓会
(福島女子高等学校同窓会)

発行人
清水玲子

発行所
福島市宮下町7-41
電話(024)535-3395
FAX(024)535-3397

会員数
36,981名
(2015.3 現在)

母校創立118年



偶 感

同窓会会長 清水玲子
(昭和29年卒)

橘の木の本が他の木に比して
今一つ元気がないように見えると
のこと。この木は「福女」から「橘」
へ変った平成十五年に同窓会から
寄贈、植樹したものです。何か手
当てをせねばならないのかと思
ながら、改めて母校の樹々を見渡
してみました。校舎は時代と共に
姿を変えています。歴史を語る
と言われる樹々は移転移植されな
がらも、思い出を繋ぎ、母校の歩
みを今に伝えます。

ぐんと枝葉を広げた多行松の並
び、年輪を増した黒松、桜の古木、
古木に接木した若木も生長、同窓
会館脇の僅かではあるがカラタチ
の垣根……等々、久方振りに母校
を訪れた同窓生が「背丈より低か
ったのに……」と、多行松をまじ
まじと見上げて話す時、母校での
往時の日々が蘇えるのでしよう。

同窓生にとっては、学んだ時代に
記憶に残る母校の姿があり、そこ
に自身の青春が重なります。

戦後七十年節目の年と言われた
今年、「戦争に始まり戦争に終つ
た私達の福女時代」を送った昭和

二十年卒学年会が米寿を祝って開
かれました由、共通の体験を持つ
級友間の絆は強く、回を重ねてお
られるとのことです。満足な授業
も受けられず、戦時教育が女生徒
も重要な労働力としての使命を帯
びていたので、日々勤労奉仕に明
け暮れたと語ります。戦時中の在
校生は皆同様ですが、別けても横
須賀海軍工廠へ動員された厳しく
辛い体験は私どもの心に感慨深く
いとおしくも響きます。戦時体験
を語ることは、平和がいかに大事
かを伝えたい為とも言えます。

この年は私どもにとって戦争や
平和につき改めて深く考える機会
でした。振り返って過去を学び、
次世代にこの平和な時代が引き継
がれていくことを信じて参りたく
思います。

さて、母校も近々百二十周年節
目の年を迎えます。同窓の皆様と
思いを一つにしてこの佳年を迎え
たく、記念すべき年が意義ある年
になることを願って居ります。

皆様のご支援・ご協力をよろし
くお願い致します。



ヤマトタチバナの芽吹く地より

校長 青山 修身

同窓会員の皆様におかれましては、常日頃から本校教育にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。創立百二十年を翌々年度に控え、かつ、「花たちはな」の校名を冠しての十三年目の軌跡を学校沿革へと刻もうとする中、皆様の後輩である卒業生がそれぞれの希望進路に向かって、一人ひとり、胸を張って学舎を巣立ってまいります。

土を詰めたフレコンバッグだらけの故郷だったけれど、そこで育ち学んだことは、かけがえのない経験だった」と、せめて若い日々を振り返られるよう、私たち福島の大人は、今この時、目の前に立つ全ての福島の子ども一人ひとりの損なわれた人権と傷つけられた人間としての尊厳の完全なる復権の支援に努めると決意を新たにしております。

春がまいります。遅い春がまいります。今なお十万人（本稿執筆時）の県民が県内外に避難を強いられております。本来の中学校舎で学び続けることができなかつた子どももいたでしょう。登下校、中通り北部の慣れない降雪に難儀した子どももいたでしょう。色褪せ始めた故郷の写真を握りしめ、前へと小さな一歩を踏み出した子どももいたでしょう。

例えば、瓦礫の町で唇をかみしめ、ペットボトルに詰めた水を運ぶ少年の写真を新聞紙から切り取り、遺作となつた映画『あなたへ』の台本に貼り、撮影現場で自らを鼓舞していたという、過ぎた一つ前の初冬に旅立った高倉健、そのひとの背なに倣うように。「ギョツと気合が入る。みんなしんどいところで我慢してやっている」

それは、本校生のことでもありません。五年・十年後、あるいは政府ロードマップによれば福島第一原子力発電所の廃炉までの「荒野の四十年」〔旧約聖書申命記〕、「三・一一」後のより良い世界であらねばならない、この世界にあつて、その子らが、それぞれの人生において、生きる実感と喜びを感じることができるよう、いずれ、福島に生活の根を張つていようと、県外に新たな生き方を求めていようと、「あの日、あの時、汚染

同窓会員の皆様におかれましては、今後とも変わらぬ本校教育へのご理解、ご協力を賜りますよう、深くお願い申し上げます。ヤマトタチバナの香気爽やかに放つ緑葉が「三・一一」から五度目の厳冬に耐え、今年も芽吹き春を迎えようとしている、ここ福島県は福島市宮下町の一世紀の同窓の地より、会報発行にあつたの挨拶とさせていただきます。

激励金贈呈式

七月八日、母校校長室において、全国大会出場が決つた放送部、囲碁部、陸上競技部の各部の代表者に対し、教頭先生同席のもと清水会長から、励しの言葉を添えて激励金が手渡されました。その後、出場三部を代表して三浦成浩囲碁部部長から、謝意を表し健闘を誓う言葉が述べられ、和やかな雰囲気の中に式を終りました。



清水会長より全国大会出場者への激励金（協力金より）贈呈

平成27年度 福島県立橘高等学校同窓会 一般会計予算書

収入金額 2,402,053円 自 平成27年4月1日
支出金額 2,402,053円 至 平成28年3月31日

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会費, 雑収入, 繰越金, 合計.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会議費, 総会費, 協力費, 慶弔費, 通信費, 旅費, 事務費, 維持費, 予備費, 積立金, 合計.

（執行にあたっては項目間の流用を認めるものとする）

平成26年度 福島県立橘高等学校同窓会 一般会計決算書

収入金額 2,782,414円 自 平成26年4月1日
支出金額 2,470,361円 至 平成27年3月31日
差引金額 312,053円

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 補正額, 決算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会費, 雑収入, 繰越金, 合計.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 補正額, 決算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会議費, 総会費, 協力費, 慶弔費, 通信費, 旅費, 事務費, 維持費, 予備費, 積立金, 合計.

監査いたしました結果、会計は適正に執行され、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成27年4月7日 監査 山崎京子 宮澤芳子

■平成26年度同窓会基金

積立基金 11,899,791円

■平成26年度同窓会協力金

自平成26年4月1日 至平成27年3月31日

◎収入

Table with 3 columns: 項目, 金額, 摘要. Includes 協力金, 預金利息, 前年度繰越金.

◎支出

Table with 3 columns: 項目, 金額, 摘要. Includes 会報発行費, 送料, 需用費.

収入金額 9,677,666円
支出金額 3,119,673円
次期繰越額 6,557,993円

■同窓会館ちばなセミナーハウス 維持管理費報告

平成26年度次期繰越額 7,345,423円

監査いたしました結果、会計は適正に執行され、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成27年4月7日

監査 山崎京子 宮澤芳子

■平成26年度同窓会協力金 年代別納入状況

Table with 3 columns: 卒業年度, 人数, 金額. Shows data from 昭和元年 to 平成26年度.

(H26.3.18~H27.3.14)

■協力金の推移

Table showing the trend of cooperation funds from 平成7年度 to 平成26年度.

総会報告

平成二十七年同窓会総会は、六月二十七日(土)、福島グリーンパレスに於いて開催されました。卒年に「五」のつく当番学年の同窓生の他、招待者の恩師・母校教職員・各支部代表・新幹事等、参加者は二百九十三名に上りました。

清水玲子同窓会会長と青山修身母校校長の挨拶、来賓紹介に続いて議事に入り、平成二十六年度事業報告および決算・監査報告、平成二十七年事業計画案および予算案は、賛成多数で承認されました。今回から取り扱いが変更となる同窓会館維持管理費について

は、会長から直接説明がありました。総会は、新旧の校歌三曲を斉唱して閉会しました。



総会風景



S55年卒 合唱部OGによる演奏



新幹事

再会を約し、名残を惜しみながら、青春歌「マイロード」で懇親会は幕を閉じました。

同窓会の主な行事 (平成27年度)

Calendar-style table listing main events for the 27th year, including committee meetings and general meetings.

Table listing names and birth dates of members, organized by year.

敬弔 (歴代校長) 心よりご冥福をお祈り申し上げます。
(客員) 桑原(天野) 先生
(会員) 岡崎野 先生

お慶び
◎昭和34年卒 菅田(金沢) 澄子様
◎昭和38年卒 栗野(安達) 章様

Table for 'New Year Officers' (新学年幹事) listing names and birth dates of officers for the coming year.

Large table listing names and birth dates of members, organized by year.

Table listing names and birth dates of members, organized by year.

キラリ! 橘! 全国大会で 大活躍!!

今年も橘の生徒達の活躍が光りました。運動部では、陸上部、水泳部、卓球部が、全国大会に出場し大奮闘。文化部でも、合唱部、放送部、囲碁部、囲碁部、文芸部が、それぞれ全国を舞台に見事な活躍ぶりでした。



合唱部

部活動報告

◆ 全国大会出場 ◆

◎ 合唱部

▽ 第八回声楽アンサンブルコンテスト 全国大会
福島市
平成27年3月20日

◎ 放送部

▽ 第62回全国高校放送コンテスト全国大会アナウンス部門
東京都
平成27年7月20日～7月23日

◎ 囲碁部

▽ 第39回全国高校囲碁選手権大会
東京都
平成27年7月25日～7月27日

◎ 文芸部

▽ 第39回全国高等学校総合文化祭
滋賀県
平成27年7月28日～7月31日

◎ 水泳部

▽ 平成27年度全国高等学校総合文化祭
東京都
平成27年8月16日～8月19日

◎ 陸上部

▽ 平成27年度全国高等学校総合文化祭・秩父宮賜杯第68回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
和歌山県
平成27年7月29日～8月2日

◎ 卓球部

▽ 天皇杯・皇后杯平成27年度全日本卓球選手権大会（福島県代表として出場）
東京都
平成28年1月11日～1月17日

◎ 卓球部

▽ 天皇杯・皇后杯平成27年度全日本卓球選手権大会（福島県代表として出場）
東京都
平成28年1月11日～1月17日

◎ 卓球部

▽ 第3回全国高等学校陸上競技選抜大会 大阪府
平成27年8月29日～8月30日

◎ 文芸部

▽ 第70回国民体育大会陸上競技（福島県選手団として出場）
和歌山県
平成27年10月2日～10月6日

◎ 水泳部

▽ 第9回日本ユース陸上競技選手権大会 愛知県
平成27年10月16日～10月18日

◎ 卓球部

▽ 第70回国民体育大会（福島県選手団として出場）
和歌山県
平成27年9月11日～9月13日

◎ 卓球部

▽ 天皇杯・皇后杯平成27年度全日本卓球選手権大会（福島県代表として出場）
東京都
平成28年1月11日～1月17日

はつかりの あ顔の顔



昭和20年卒 福女20年会 於：あづま荘・福島グリーンパレス



第17回たちばなゴルフ会 於：パーシモンカントリークラブ



水泳競技福島県選手団
向かって右はじ穴戸菜穂さん



水泳部(安田広佳さん)



囲碁部



陸上部

平成27年度 入試合格状況

(4月1日現在)

Table with columns for National University, Private University, and University School, listing names, current status, and graduation years.



文芸部



放送部

平成二十七年三月卒業生の
大学合格状況と進路状況

平成二十六年卒業生の国公立大の合格者は一三九名となり、昨年度よりわずかに下回ったものの、教育課程の変わり目という難しい時期にあつて、よく健闘した。センター試験は、数学②(II+B)と理系の「本編理科」の難易度が上昇し、影響が大きかった。しかし、成績分析会議や担任との面談を繰り返して行ってきた結果、適切な二次出願をすることができ、多数の国公立大合格につながった。また、生徒も

最後まであきらめない姿勢を貫いて勉強したことで合格を手にした者が多かった。国公立大では、福島大学で五三名が合格した。また、宇都宮大、埼玉大、茨城大、新潟大などでも合格数を伸ばした。難関大では、東北大学で、理学部二名、医学部看護一名、文学部一名の計四名が合格し、北海道大、横浜国大でも合格者が出た。一方で、厳しかったのは福島県立医科大学である。看護学部にて七名(推薦二、一般五)が合格したが合格率は低かった。また、特徴的だったのは、国公立大の推薦・AO入試で二三名が合格できたことである。今後も有効な利用法を研究していきたい。

※ 表中の数字は、「合格者数」である。

※ 表中の「過年度卒」欄の合格者数については、報告のあった人数を示している。



橘クラブバスケットボール部総会 於：ローゼンケラー



昭和34年卒 花たちばな34会 第10回 白寿の大寺先生を囲んで 於：祭屋 湯左衛門

なつかしき恩師



三年間は研修？
鈴木 啓
昭和51年4月〜昭和54年3月
在職(社会)

昭和五十一年四月、県社会教育課・文化課を経て福女に赴任した。九年間の空白で新採用並みの緊張だった。初めのうち何人かに、先生は本当に先生？と聞かれ、なぜ怪しむのだろうと訝り、融けこんでからは三年生最後の模試で教科書外の設問をしたから、満点とつた勢いで本番を突破しようとしたのに！と多数に抗議されたのは鮮明に覚えて

生活が彷彿と浮かんだ。明治三十年代の創立時は国内の公立高女は二十六校に過ぎず、一県一高女で全県と他県から入学したから、一回生からお茶の水に合格した。それで福女生は梢の上の鳳の如く気高く燦めく学び舎と評価された。個人調査で凄と思ったのは、高村智恵子・石橋梅子(総理大臣夫人)・松島舞(学習院教官)女史で、まさに仰ぐ先輩です。授業では刺激的な質問が多く、私からは歴史に何を求めるかを逆に質問して「メモ」をとり続けた。五十一年松平知事は図書館・美術館・博物館建設を重点施策とし、その方針を文化振興会議に委任し、座長は高橋哲夫校長でした。私は二年生を担任し、これからと意を決していたが拉致同然に文化施設整備室に送致された。新しい課題は本県の顔ともなる歴史展示で、頭を抱えたが、生徒さんから学んだメモを基礎に、「日本史上福島の果たした役割りと特色」のテーマで構成した。六十一年十月オープン、四年後に入館者百万人突破「メモ」は生きたと確信し、皆さんから貰った「刺激↓反応↑向上」の図式は得難かったと思っただ。紙面提供に感謝します。(福島市在住)

いる。五十二年創立八〇周年記念誌の編集を担当し、早速資料収集に市史編纂室を尋ね、開校時の古写真・校舎落成式の生徒代表の祝辞(ほぎごと)を手に入れた。同窓会の年々の報告書は整い、往年の福女生のイメージが湧き、それを確かめるため大島光昭先生と大先輩を訪問し、生き生きとした学校

生活が彷彿と浮かんだ。明治三十年代の創立時は国内の公立高女は二十六校に過ぎず、一県一高女で全県と他県から入学したから、一回生からお茶の水に合格した。それで福女生は梢の上の鳳の如く気高く燦めく学び舎と評価された。個人調査で凄と思ったのは、高村智恵子・石橋梅子(総理大臣夫人)・松島舞(学習院教官)女史で、まさに仰ぐ先輩です。授業では刺激的な質問が多く、私からは歴史に何を求めるかを逆に質問して「メモ」をとり続けた。五十一年松平知事は図書館・美術館・博物館建設を重点施策とし、その方針を文化振興会議に委任し、座長は高橋哲夫校長でした。私は二年生を担任し、これからと意を決していたが拉致同然に文化施設整備室に送致された。新しい課題は本県の顔ともなる歴史展示で、頭を抱えたが、生徒さんから学んだメモを基礎に、「日本史上福島の果たした役割りと特色」のテーマで構成した。六十一年十月オープン、四年後に入館者百万人突破「メモ」は生きたと確信し、皆さんから貰った「刺激↓反応↑向上」の図式は得難かったと思っただ。紙面提供に感謝します。(福島市在住)

卒業生の活躍

今 絵の中で

佐藤(馬場)常 (昭和26年卒)



戦後、女子高に入学しても制服はなく、自由な服装で登校し、私達が生徒

会総会で制服を決めましたが、制服に袖を通すこともなく卒業。さて、現在八十三歳。日本画作品集刊行並びに個展(八十点)を開催し、自分を振り返って見た。教員をしつつ家事育児の仕事をしたが、些少なりとも細々と日本画を描き続けられたのは、家族の協力のお陰でもあった。

時間ぎりぎり迄描き、下手な絵を展覧会に出品し、恥ずかしさに鞭打ち続けながら「もう止めようか」とつぶやいた。先生から下手だったら「人の絵を見て描け」と叱咤激励を受けながらどん底時代をのり越えた。歳を重ねる毎に「何を何時どの様に描くか」の計画が生まれ心穏やかに、反省と失敗を繰り返す中、楽しさ、嬉しさに変わった。「今日」「今」努力して絵を描け

ば、昨日の続きだから描ける。更に続きを描いて私生活の一部になり、やがて人生になり得る。今日たった今から描き続けているかなければ私の日本画は完成しないで終わる。描く描かぬは自分で判断することであるが、岩絵具や膠によりや慣れて来た今、歳に負けずに頑張って描き続けていきたい。

卒業後東京のデザイン学校に進みましたが、授業内容は思っていたものとは程遠く、友人と動物園にスケッチに行ったり読書に耽ったりする日々の中で、フト目にした外国のカートゥーンに触発され海外に飛び出して集めたカートゥーン集を傍に、マンガ制作に励み雑誌社や新聞社に持ち込み時には採用されたりもしました。マンガ賞もいくつか受賞できて、東京新聞の夕刊で四コママンガの連載も始めることができました。また、他紙で子供の頃の福島の思い出をストーリー漫画にして連載し、各々終了後に単行本になりました。恥ずかしながら岩瀬書店で初のサイン会も開かせていただきました。時々宝クジのイラスト等も描いています。逆境にある時も、馬鹿の一つ覚えみたいにも夢は叶うと信じ曲がりなりにもやってきました。現在は福島民友新聞で四コママンガ「ももちゃん」を連載しています。笑って読んで頂ければ幸いです。

佐藤 常氏プロフィール

- 福島大学芸術学部卒
- 小学校教員
- 福島県総合芸術展入選
- 福島県労働金庫理事賞他各種受賞
- 福島市シルバー美術展招待
- 福島市民美術展招待
- 日本画院会員
- 日本画作品集編集・個展開催

小田令子氏プロフィール

- 昭和44年 福島女子高卒
- 東京デザイン学院入学
- 中日マンガ大賞秀作
- 読売国際漫画大賞佳作
- 著書
- のどかさんのいま日記(四コマ)
- はねっ子しずく(ストーリー漫画)
- おちかの怪物の話(絵本)

曲がりなりにも

小田(清野)令子 (昭和44年卒)



フラリと教室に入ってくるグレイの猫はイスに座って丸くなり、お弁当のおかずを少し食べさせてやるとフツと消える。このグレイ君と温かい陽だまりの光景は不思議な時間でした。友人達は進路に目標を持っていくようでしたが、好きな絵を描いていられたらいいなと夢のような事を考えていた私はとり残されたような気持ちでした。

卒業後東京のデザイン学校に進みましたが、授業内容は思っていたものとは程遠く、友人と動物園にスケッチに行ったり読書に耽ったりする日々の中で、フト目にした外国のカートゥーンに触発され海外に飛び出して集めたカートゥーン集を傍に、マンガ制作に励み雑誌社や新聞社に持ち込み時には採用されたりもしました。マンガ賞もいくつか受賞できて、東京新聞の夕刊で四コママンガの連載も始めることができました。また、他紙で子供の頃の福島の思い出をストーリー漫画にして連載し、各々終了後に単行本になりました。恥ずかしながら岩瀬書店で初のサイン会も開かせていただきました。時々宝クジのイラスト等も描いています。逆境にある時も、馬鹿の一つ覚えみたいにも夢は叶うと信じ曲がりなりにもやってきました。現在は福島民友新聞で四コママンガ「ももちゃん」を連載しています。笑って読んで頂ければ幸いです。

同窓 ニューズMEMMO

Table with 2 columns: MEMMO (left) and MEMMO (right). Rows list dates and events for various years (e.g., 平成27年, 昭和35年).

平成28年度(2016年) 総会のお知らせ
と き 平成28年6月18日(土) 11:00~14:30
ところ 福島グリーンパレス
当番学年 卒年に6のつく学年
内容 総親会
会費 5,000円

支部だより 郡山支部

「福桜会」へ入りませんか?
郡山の福女卒の同窓会は、福桜会と言います。創立は戦前昭和十四年頃、町長夫人の今泉アサ様の呼びかけで十二人程度の集りと伝えられています。当時の主婦は夫の許しがないと家をあげられない時代。公然と出掛けられる同窓会の集りでは肩の荷をおろし語り合ひ、春の花見、秋の紅葉狩りと、束の間の癒しを楽しみにして居たようです。その後新産業都市として郡山が発展した頃から会員は百八十名となり組織の充実を図り、屈指の規模の支部となりました。高齢化が進み、伝統ある福桜会も今年九十一名の会員に案内



平成27年度 福桜会のつどい 於: アンジェ口開成

を出したところ、出席者が二十七名と少し残念でしたが、「若々しく生き抜くために」の記念講演を聞き、美味しいイタリア料理を戴きながら楽しい総会、懇親会を過ごしました。前年の役員会で会の存続の為、若い後輩の入会を、と同窓会名簿から、今年の会長渡辺瑛子さんが三百六十五名の卒業生を拾い出し、三田公美子さんにピンク色のステキなパンフレットを作成して戴き発送したところ、早速六名の方から入会希望と連絡が有り、役員一同喜びました。これからも新会員の入会を勧めたいと思います。

愛知県支部

愛知県支部誕生
安藤(宇津木)幸恵 昭和35年卒
古里からは遠く離れているこの地方にも六十名近い同窓生がいらっしゃるので、何かのお役に立ちたいとの思いが募り、名簿をたよりにお声をかけさせて戴きました。平成二十七年十月四日設立。平成二十七年十月四日設立。まだまだよちよち歩きですが、今後きつと実のある支部に発展させたく、諸先輩方の御指導を仰ぎ、事務局共々進めて行こうと考えて居ります。又、近県の方々にも是非参加していただきたいと思ひます。

会津支部橘あいづ

毎年会いましょう
佐藤(二階堂)浩子 昭和37年卒
一年に一回、肩の力を抜いて、気楽に、ランチを楽しみましょう。これが地区総会のスタンスです。世代の異なる人との会話もなかなかいいものです。さまざま

かな

支部一覧 Table with columns: 支部名, 支部長, 卒年. Lists branches like 東京, 山形, 愛知, etc.



会津支部橘あいづ 於: 鶴ヶ岡茶寮

生き方、考え方に触れ、知り合えてよかったな!と思ひます。ところがどっこい、年々参加者が減少してきて事務局としてはガツクリしているところなんです。しかし、毎年開催は変わりありません。二十七年は、六月二十一日(日)、会津若松市の「鶴ヶ岡茶寮」が会場で、八名の参加でした。遠く昭和村から参加の方もおり、感動しました。
なお、会報十九号を発行しました。

*各支部のTELは同窓会事務局 (TEL.024-535-3395) までお問い合わせ下さい。

学年だより

十年後に会いましょう

伊藤(伊藤)千鶴子(昭和35年卒)

第一回幹事会が開催されて初めてセミナーハウスに入りました。校庭で野球をしている男子生徒に会い、共学を実感いたしました。幹事の他のクラス代表の方達と案内の発送作業もすごく楽しかったです。総会参加は十年前よりは少なかったですが、参加してくださった方には感謝です。会場での「あの人誰だっけ」には時の流れが感じられました。アトラクションでは後輩の合唱

部OGのコーラスを、そしてピアノ伴奏は我が大谷玲子さんが素晴らしい演奏を聞かせてくれました。総会終了後別室にて珊瑚会を開き、総会とは又ちがった和やかな雰囲気の中で楽しいひとときを過ごすことが出来ました。そして、三年後七十七歳の珊瑚会、十年後の総会に皆さんで参加いたしましょう。

ああ、福島女子高等学校！

堀越(丹治)ミヤ(昭和45年卒)

十年ぶりの同窓会を六月に終え、回想し、ペンを執りましたが、強く思い出されますのは、同期生の今も繋がっている無償の友情です。同窓会開催に向け、学年幹事一名からの心細いスタートでしたが、声を掛け合い、全クラスから、一名ないし二名の幹事が決まり、その後も一致協力し、快く迅速に動いて下さったこと、改めて母校の卒業生であることに誇りを感じました。卒後四十六年経ち、初めて全クラスに連絡がゆきわたり、結果一〇四名の出席となり、遠方からも故郷の様子を案じながら多数参加下さいました。その一時の華やかな事、若やいだこと、短い時間の中で旧交を温め、再会の約束をされたクラスも多かったと事後談で耳にし、幹事冥利に尽きました。十年後は古希も過ぎ、心身共に変化はあると思いますが、またお会いすることを励みに、力強く生きて参ります。最後に毎年関わる本部の皆様、本当に有難うございます。

福女55の会

根本 三月(昭和55年卒)

私たちの学年は「福女55の会」を立ち上げ、同窓会総会・懇親会の第一次案内は年賀状で送り、会のために開設したメールアドレスに出欠の連絡をいただきました。同窓会当日は五十六名の同級生が集い、久々の再会に「誰?」「えーっ!!」「キヤッッ!!」の歓声があちこちで聞かれ、気持ちはずっかり福女時代にタイムスリップ。合唱部OGの当時の写真のスライドショーは懐かしく、変わらぬ歌声に感動しました。本当に何もかも楽しくて、二次会、三次会にも多数参加し旧交を温め合いました。



昭和35年卒 珊瑚会



昭和45年卒

同級生の皆さん、ブログは見ていただけましたか? 基本的に同級生しかアクセスできません。もしブログの見方、パスワードを忘れてしまったら、tkuj55@yahoo.co.jpまでメールしてくださいね。福女55の会の輪をどんどん広げ、次回はより多くの皆さんの笑顔に会うことができますように。

初めての総会

門馬(古川)真紀(平成5年卒)

母校に赴任してから七年目。今回初めて、事務局員としてではなく学年幹事として総会に参加させていただきますました。私たちの学年は準備に参加できた幹事が四人。大変心細いスタートではありましたが、不思議なものです。ほぼ初対面だったにも拘らず、すぐに高校時代の話で盛り上がり、打ち合わせがとても楽しい時間となりました。また、頼もしい先輩方に優しく丁寧に指導いただき、なんと総会を終えることができました。本当にありがとうございます。

学年全員への連絡が難しかったため、総会当日の出席者は約二十名でしたが、恩師山崎先生にもご出席いただき、昔を思い出しながら楽しいひと時を過ごすことができました。十年後の総会には、ぜひ、より多くの学年の皆様にご出席いただきたいと思っています。卒業時は二十二名いた学年幹事で



昭和55年卒 福女55の会



平成5年卒

すが、連絡先が分からなくなってしまう方や、遠方に住んでいるためご協力いただけられない方がたくさんいらっしゃいます。次回幹事としてご協力いただける方は、どうぞ事務局までご連絡ください。

あとがき

「同窓」66号をお届けします。今回、特に速やかな原稿の提供を受けましたこと感謝申し上げます。

編集委員氏名

- ◎渡部 教子 大槻美智子 高橋 純子
- 松川 佑子 大竹 恵理 西屋由美子
- 石井 道子 斎藤 良子 鈴木ゆかり
- 肥沼真紀子 吉野 叔子

振込用紙の通信欄に寄せられた
メッセージを掲載します。

会員メッセージ

今年102歳になります。

S 5 卒 山口(本間)ミツ

母は97才になりました。元気がよくて声を出したりします。長生きしてもらいたいですね。(次男 修一)

S 11 卒 浦(大畑)百枝

93才で「現役」呉服店の看板バアさまでです。(息子)

S 14 卒 丸谷(佐藤)恵子

クラスメートが次々亡くなり淋しくなりましたが91才の誕生日も健康で過しました。女学校2年の時戦争が始まり青春時代から政治に関心を持たざるを得ませんでした。頑張りましょう。

S 15 卒 御沢(斎藤)トヨ

毎年納めたいのですが歩くのが大変なので、一度に納めます。昭和17年なつかしい数字を見て若返りました。母ミツは明治だったと思います。私の先輩です。仏様になりました。

S 17 卒 石村(八島)ヒロ

今年9月で90歳。母校のますますのご発展を祈念いたします。

S 17 卒 佐藤杉内(美仁)子

11月13日満91才を迎えます。肉体と靈魂の調和を頂きおたやかな日々を送らせて頂いている母です。少しでも生かされている間、協力を送らせて頂きます。これも感謝しています。世界平和の祈りをいつもしてい

S 22 卒 秦(菊地)美代子

る母を靈魂の親に感謝です。

S 17 卒 二瓶(佐藤)富子

この度の旭日双光章受章に際しての同窓会のご厚意に感謝いたします。

S 18 卒 斎藤(佐藤)幸子

生まれて90年、嫁して65年、されど未だに故郷の山恋し、友恋し、味恋しです。みちのくに生まれ肥前に老いにけり、皆様のお俵せを折っています。

S 18 卒 清水(小村)節子

終戦70年、旧福女卒業と同時に福女挺身隊として横須賀市航空技術隊に行き、2級下の学徒部員の方をお訪ねしたことをよく思い出します。今後に育つ子供達を守りましょう。

S 19 卒 宮本(早田)言

局まで歩けますので送金出来ました。ありがとうございました。

S 19 卒 山川 和子

戦後70年、私達は福女卒70年、昭和20年卒あの時代のこと走馬灯のようにつかびます。子供たち孫たちのため憲法九条を守りたいです。

S 20 卒 吉野(針金)愛子

横須賀の従妹のところに又福女卒が会報を通じて声を揚げてくれました。伝統ある福女のつながりに老体の背中を押してもらいました。大学院生の孫娘が未だ未納ではと思い収めます。

S 20 卒 渡辺(柳沼)チエ

同窓65号会員メッセージに載せて頂き嬉しく有難うございました。同窓何時も楽しみにしております。皆様のご自愛を念じております。心ばかりの協力金です。

絆に感謝申し上げます。

S 26 卒 斎藤(小川)洋子

会報「同窓」に高村智恵子さんが載っていました。私は智恵子さんを顕彰する「レモン会」の一員です。地元紙に掲載されたシリーズは夫の文章でした。毎年10月5日の智恵子の命日に「レモン忌」が開催され、遠方からも関心のある方々が参集されて智恵子光太郎について語り合っています。嬉しいことです。

S 26 卒 渡辺(安斎)寿容

会報いつも楽しく拝見しております。孫も後輩としてお世話になり、来春卒業します。高校生活を楽しんでいる様子時々聞いております。

S 29 卒 大窪(三橋)幸子

今年は息子達2家族が我々の結婚40周年と、私の長寿の祝いをしてくださいました。

S 31 卒 鈴木(金子)眞理子

合唱王国福島で育ったお陰で合唱活動を続けています。30周年演奏会大成功で終わりました。

S 31 卒 高橋(星)和子

「会員メッセージ」を読みました。102歳の名村さま。101歳の山口さま。おめでとうございます。長生きも芸のうちと申します。私も皆様方にあやかりまして、いい年を重ねて参りたいと思います。どうぞ末永くお元気で！

S 31 卒 谷(片平)チイ子

前回回のメッセージを載せて頂き、北海道に住む板橋様より「見たよ」

と当時のクラスメートの電話を懐かしく、福井県に住む私宅に届きました。この誌は関係皆様のお陰で広く、永く、大きく同窓生の心に生きていくことを感じています。

S 32 卒 川畑(加藤)良子

S 33 卒松川在住9名で、名残り会を作り、年2回交流を深めています。「ちはな」は心の宝です。母校のますますの発展を祈念致しております。

S 33 卒 植木(小林)秀子

会報に須賀川支部総会の写真が載っているのを見て、驚いたり喜んだり。若い会員のやる気に心強さを感じて再スタートです。

S 33 卒 加藤(村上)良子

会報が届くと懐しい友の声が嬉しいです。平成28年に「長寿の会」でおあいしましょう。男性のメッセージ心強いですね。

S 33 卒 橋(佐藤)洋子

自然現象が変りやすい昨今ですが皆様お元気で過ごしのことお察しいたします。体調の悪い時もあります。それでも目標を持って最後までいきたいものです。

S 33 卒 西田(西田)明美

何時もながら盛りだくさんのニューア楽しく読んで居ります。S 33 卒業と同時に神奈川県に移り住み福島とは縁遠くなっておりますが、福女の真面目でがんばりの気質は今も昔も変わらないな、となつかしく思っています。役員の方々がありがとうございます。

S 33 卒 吉原(栗野)和子

平和と民主主義の教育を受け、個人としての自己を高めながら戦後70年を生きてきました。思いもよらずその平和な日本が別の道を歩もうとするとは、絶対に戦争の道は歩みたくありません。みんなで平和憲法を、特に9条を守ろうではありませんか。

S 34 卒 佐藤(渡辺)瑛子

充実した会報いつもお送り下さいましてありがとうございます。

S 35 卒 佐藤(遠藤)興子

我母校の発展と、甲子園に向けて頑張っている男子後輩の野球を楽しみに応援しています。

S 35 卒 関(斎藤)泰子

同窓会会報いつもありがとうございます。楽しみにしています。役員の皆様の大変さが伝わってきます。御苦勞様です。会報を読みながら福女時代をなつかしく思い出しています。高校生にもどってみたい気持ちです。

S 36 卒 木村(斎藤)美智子

来年の同窓会を今から楽しみにしております。

S 36 卒 佐藤(鈴木)美代子

去年、会員メッセージに掲載されたのを見た先輩から、ハガキが届きました。高校を卒業して勤めた職場の、やさしいお姉さんの存在の人です。すこく嬉しかったです。どうもありがとうございます。

S 36 卒 滝川(角田)晴子

7のつく年に幹事として総会にはじめて参加しました。3年後に又まわってきます。10年はあつという間です。3年後も必ず元気で出席したいと思えます。

S 37 卒 斉野(佐藤)厚子

「同窓」65号の高橋様「福女生は常に志を持ち、何ごとを行うにも躍動感に満ち溢れている」のくだりに共感しました。日々自分への水やりし乍ら枯れないよう心がけます。ありがとうございました。

S 37卒 鈴木菅藤 富美子

若い日の体験や教えて頂いたことは、どれも無駄にはならないと実感しています。若い方々が一日一日を大切にすごされますように！

S 38卒 森川（高野）和子

④助け合う ①引き受ける ⑧声をかける ⑤労る この思いやり算で元気にすごしています。NHKコンクール応援していますよ、いつも。

S 40卒 阿部阿部三枝子

福女ハンドボールのメンバーで年に1回〜2回食事会を毎年開催しています。近年は介護の話や老後の話が話題。合わせて自身の健康の報もです。毎年元氣な顔を見て、頑張る気持ちになります。

S 40卒 二階堂（丹治）雅子

今年は今までになく度々帰省しましたので、新しい？校舎をじっくり見られました。50年振りの母校に「ここはどこ」の思いが涌きました。

S 41卒 粕尾（佐藤）裕子

久しぶりに帰郷して、吾妻小富士をみて、母校のピンクの校舎の脇を通りました。美しいふる里に除染の土心が痛みました。一日も早い美しいふる里をとりもどせる事を願っております。

S 41卒 加藤（菅原）順子

いつも大変お世話になっております。ありがとうございます。昨年結婚した甥のお嫁さんは福女最後の卒業生です。

S 41卒 金子（穴田）量子

「母校校舎シリーズ」毎年、楽しみにしております。

S 42卒 相原（上野）幸子

今頃になって「福女」時代がとってもなつかしく、思い返されます。リカちゃん人形（制服姿）再注文はしていただけないでしょうか。ほしいです。

S 42卒 石川（長岡）克子

両親が夫婦だけで生活できなくなつて、福島から引きとって丸12年。父は亡くなりましたが神様に感謝している。母は私のそばでおだやかな日々を送っています。親の世話ができる私は感謝です。（娘）

S 42卒 綿引（二瓶）順子

福島を離れて約50年。お便りの度に懐しく拝見しております。

S 43卒 川島（金子）チエ子

除染作業後に家毎に被せられた青いビニールを突き破って雑草が伸びる有様の一年を、両親の介護のソレンマを抱えて過しております。老人の区分に入り「なるほど」と実感するこの頃です。盛会でありますように！

S 43卒 河野（業城）順子

震災から4年目を迎えますが皆様お身体大切に頑張ってください。

S 43卒 嶋原（高野）仁子

会報の会員メッセージで知り合っていないことが残念に思いました。同窓会への参加、東京支部会の参加は日時が合わず叶いませんでしたが、連絡はお願いいたします。

S 43卒 高木 茂子

いつもありがとうございます。会報を楽しみにしております。

S 45卒 柴田（沼沢）江子

同窓会報楽しみです。90才の義母、84才の母と、会報がくると、各々思い出話をします。

S 46卒 佐藤（萩原）寿美子

京都より福島の復興を祈っています。

S 49卒 藤本（菊地）由美子

「同窓」を送っていたとき、ありがとうございます。ついでに。

S 51卒 佐藤（山崎）千恵子

中国地方在住のクラスメートに32年ぶりに会いました。すぐに高校時代に戻って話が弾みました。

S 52卒 井上（寺島）喜美代

同窓第65号で、佐藤善紘先生のお顔を拝見し、40年前に地学の授業で登山のスライドを見せていただいた事を思い出し、とても懐しい気持ちになりました。「お前たちは！」という声、また聞きたいです。

S 52卒 塩谷（福原）和子

東大、一橋、医学部にも合格できるよつ、現職の先生方、子どもたちへのサポートよろしく願っています。

S 53卒 佐藤（紺野）早苗

「同窓」を「送付頂きありがとうございます。斎藤洋一先生の早すぎます。逝去を悼み心より先生のご冥福をお祈り申し上げます。

S 53卒 森山（木田）明美

同窓会会報ありがとうございます。大熊町に住んでいましたので、避難後初めて届きました。昨年、橘高校の近くのオーデイオ店に何回か行く機会があり、36年ぶりの校舎はすっかり新しくなっていました。感慨深かったです。あの頃は、今の自分は想像もできなかったです。（笑）今年中に南相馬へ行く予定です。大熊の住所を宛先にしてもらえば届きます。

S 54卒 武内（菅野）久美香

東京支部のH26の総会には出席できず残念でした。支部の御連絡先がわかりませんが、また会が開かれますなら、お知らせいただけたら嬉しいです。

S 58卒 原田（後藤）美穂

会員の皆様、母校の皆様の益々の発展をお祈り致しております。

S 63卒 土屋（梅田）芳

母校と福島を応援しています。

H 元卒 下平（飯土）由香里

総会お写真を拝見し、大変懐かしい旧友メンバー皆様お元気そうで大変嬉しくなりました。次回は是非参加致したく存じます。

H 4卒 阿久津（倉島）朋子

2015年1月にアメリカの国籍を取得しました。ウエルズファアゴという銀行に勤めています。

H 16卒 安藤 伊文

同僚の息子さんと娘さんが橘出身。在学中ということ親近感がわきました。最後の福女生だった我学年を懐しく思うと共に後輩の努力に背中を押される今日の私であります。

H 17卒 沖 和砂

昨年は送金を忘れてしまい、申し訳ありませんでした。橘一期生として入学した息子も、お蔭様で社会人として元気に過しています。（母より）

H 18卒 塩谷 裕司

いつもお世話になっております。これからも、学生さんが元氣ですこやかに勉学にはげられますように。

H 18卒 吉田 直広



住所変更手続きのお願い

住所や電話番号等を変更された方は事務局までお知らせください。その際、正確を期すため書面（協力金振込用紙通信欄、ファックス、ハガキのいずれか）でご連絡下さい。

福島県立橘高等学校同窓会（福島女子高等学校）

事務局 福島県立橘高等学校内 〒960-8011 福島市宮下町7番41号 ファックス番号 (024)535-3397